

# 「授業アンケート FURIKA」 教員用マニュアル

# — 2021 年度後期 —

## 福岡大学

教育開発支援機構

目 次	7
	•

I.20	021 年	度の	主	な変	変更	点	- }	主意	点	•	•	-	• •	•	•	•	•	•	-	•	•	•	•	•	•	P1
Ⅱ.授	業ア	ンケ	- 1	- FI	UR I	KA	設	問耳	頁目	•		• •	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	-	•	P2
Ⅲ.実	<b>፪施</b> 方	法·	•		•	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• F	°3,	~8
<b>Ⅳ</b> . フ	7-	ドバ	ック	7の	活	用ス	方法	ŧ٤	留江	意事	靪	Į.	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P§	)~	·15
〈参	考〉																									
- 5	学生,	× <u> </u> ⊐	L —	画同	面1	<i>ب</i> ′		ジ		•	•	•	•			•	•	•	•	•	•	•		P16	)~	·19

・学生用マニュアル -回答方法と留意事項- ・・・・・・・ P20~21 ※学生は、FUポータル「FURIKA」のメニューから閲覧可能です。

当資料の電子版およびQ&Aは、以下に保管しております。 ◆FUポータル 「FURIKA」( FURIKA )メニュー - 教員用マニュアル(実施方法) - FURIKA に関するQ&A

## I. 2021 年度の主な変更点·注意点

FURIKA の 2020 年度からの主な変更点・注意点は以下になります。昨年度に引き続き、前期授業の多くが遠隔 授業の形態で実施されたことに伴う変更点・注意点が中心となっています。



### 設問項目の追加について

詳細は p2 へ

遠隔授業の運営における改善可能な要素について、昨年度と同様に「①出席状況」、「②到達度」の設問項目を用意したほか、今年度から「⑦FU プラスアップ授業」の設問項目を追加しました。

①出席状況

・「この授業には何回出席(参加)しましたか?」

※①出席状況は、通常であれば各教室に設置されている「出席調査用カードセンサー」のデータから抽出していますが、遠隔授業実施に伴い、設問を追加しています。

②到達度

- ・「以下に挙げる項目のうち、あなたがこの授業の到達目標に到達するうえで、**良かったこと**を選んでく ださい。」
- ・「以下に挙げる項目のうち、あなたがこの授業の到達目標に到達するうえで、
  改善が望まれることを選ん でください。」

また、今年度より FU プラスアップ授業が開始されたことに伴い、新たに FU プラスアップ授業についての設問を追加しました。

⑦FU プラスアップ授業:

この授業で実施された FU プラスアップ授業は、自身の学習を促進する上で、どの程度役に立ちましたか。



### 実施期間について

詳細は p3 へ

実施期間は、令和3年12月20日(月)~令和4年1月17日(月)となります(※医学部医学科は令和4年2月3日まで)。

なお、アンケートの入力は令和3年12月1日(水)から可能です。学年暦上、FURIKAの実施期間前に 最終回を迎える授業については、担当教員の判断で前倒して実施可能といたします。

## フィードバックの時期について

フィードバックについては、学生・教員ともに2月中旬以降を予定しています。詳細については、改めて FUポータルおよびメールにてお知らせいたします。

## I. 授業アンケート FURIKA 設問項目

#### ①出席状況:

この授業には何回出席(参加)しましたか?

※出席(参加)回数が明確にカウントできない場合には、授業何回分の出席に相当するかをおおよその判断で回答してください。 なお、FUプラスアップ授業は授業1回分に相当します。

(回答)実数を選択(0~7/0~15/0~30) ※科目に応じて自動表示

#### ②学習時間:

ー回の授業に対してどれくらい学習(予習復習、資料の収集・閲覧を含む)しましたか?授業前後に友人と内容について話したり、試験勉強や課題のレポートを書いた時間も含みます。

(回答) 実数を分単位で選択(0~180分)

#### ③到達度:

- ③-1)この授業のシラバスには、以下の到達目標が設定されています。あなたはこの授業をうけて、各到達 目標にどの程度到達できたと思いますか?
- (回答)(1:全くできなかった、2:あまりできなかった、3:どちらともいえない、4:ややできた、5:充分にできた)
- ③・2)1回でも遠隔授業の形態で受講した授業科目(FUプラスアップ授業は除く)について、お尋ねします。 以下に挙げる項目のうち、あなたがこの授業の到達目標に到達するうえで、良かったことを選んで下さい。(複数回答可)ただし、本授業を全て対面のみで受講した場合は、「12:授業全回を対面で受講した」 を選択してください。
- (回答)(1:各回の授業の実施方法(リアルタイム配信型/オンデマンド型/教材配信型)、2:授業で用いられた ICT ツール(FU\_box、Webex など)、3:授業の進む速さ、4:教材・資料の分かりやすさ、5:教材・資料の分量、6:課題(レポート等)の難易度、7:課題(レ ポート等)の分量、8:教員とのコミュニケーション、9:学生間のコミュニケーション、10:その他、11:特になし、12:授業全回を対面で受講した)

⇒「10.その他」を選んだ方は内容を記述して下さい。 (回答)<sub>自由記述</sub>

- ③-3)1回でも遠隔授業の形態で受講した授業科目(FUプラスアップ授業は除く)について、お尋ねします。 以下に挙げる項目のうち、あなたがこの授業の到達目標に到達するうえで、改善が望まれることを選ん で下さい。(複数回答可)ただし、本授業を全て対面のみで受講した場合は、「12:授業全回を対面で受 講した」を選択してください。
- (回答)(1:各回の授業の実施方法(リアルタイム配信型/オンデマンド型/教材配信型)、2:授業で用いられた ICT ツール(FU\_box、Webex など)、3:授業の進む速さ、4:教材・資料の分かりやすさ、5:教材・資料の分量、6:課題(レポート等)の難易度、7:課題(レ ポート等)の分量、8:教員とのコミュニケーション、9:学生間のコミュニケーション、10:その他、11:特になし、12:授業全回を対面で受講した)

⇒「10.その他」を選んだ方は内容を記述して下さい。 (回答)<sub>自由記述</sub>

#### ④積極性:

この授業に対してどの程度主体的・積極的に取り組むことができましたか?(前向きな姿勢での出席、予習復 習、課題の提出、授業での発言、グループワークでの活動への参加、等)

(回答)(1:全くできなかった、2:あまりできなかった、3:どちらともいえない、4:ややできた、5: 充分にできた)

#### ⑤理解度:

この授業の内容はどの程度理解できましたか?

(回答)(1:全くできなかった、2:あまりできなかった、3:どちらともいえない、4:ややできた、5:充分にできた)

#### ⑥学んだこと:

この授業で特にあなたが学んだことは何でしょうか。

(回答)自由記述

#### NEW ⑦FU プラスアップ授業:

この授業で実施された FU プラスアップ授業は、自身の学習を促進する上で、どの程度役に立ちましたか。

(回答)(1:全く役に立たなかった、2:あまり役に立たなかった、3:やや役に立った、4:大変役に立った、5:FU プラスアップ授業動画を見ていない)

## Ⅲ. 実施方法

- ◆ アンケート実施期間は、令和3年12月20日(月)~令和4年1月17日(月)(医学部医学科は2月3 日(木)まで)となります。実施期間内であれば学生はいつでも回答することが可能です。
- ◆ FURIKA は原則として、授業の最終回またはその前回の授業時間内に回答することを想定し設計されています。各授業の進捗状況に応じて適切だと判断されたタイミングで実施してください。
- ◆ FURIKA の入力は 12 月 1 日(水)から可能です。学年暦上、FURIKA の実施期間前に最終回を迎える授業 については、担当教員の判断で前倒して実施可能といたします。
- ◆ FURIKA は、回答に 5~10 分程度を要します。
- ◆ アンケートの趣旨や実施に伴う補足情報については、FU ポータル内「FURIKA に関する Q&A」をご参照 ください。

### 1 アンケート実施手順

#### (1) アンケートの実施1週間前

◆ 授業の中で、次週に授業アンケートを行うことを学生にアナウンスしてください。

・ 『令和 3 年度後期授業アンケート FURIKA(フリカ)が 12 月 20 日(月)よりスタートしました。この授業については、次回の授業後に回答してもらいます。

『FURIKA(フリカ)に初めて回答する方、回答方法がわからない方は、FU ポータルの上部右端にある緑 色の「FURIKA」にアクセスし、マニュアルや説明動画を事前に確認しておいてください。』

◆ FU ポータルにログインする際に必要な福大 ID(多要素認証基盤)について、学生にアナウンスをしてください。

『FU ポータルにログインできることを事前に確認しておいてください。福大 ID のパスワード有効期限が切れ、またはパスワードを覚えておらずログインできない場合は、学生証を持参の上、情報基盤センター(文系センター低層棟 3 階)、学生課、もしくは学部事務室で、仮パスワードを発行し、更新手続きを行ってください。』

◆ 本学の無線 LAN 環境への事前設定について、学生にアナウンスをしてください。

◆ 学生の授業の振り返りをより促し、適切な自己評価を行えるようにするという観点から、FURIKAでは、 アンケート回答前に授業の総括を行っていただくようお願いしています。アンケート当日に授業の統括を 行う場合、次のとおり、学生にアナウンスしてください。

『みなさんが授業の中で、何をどれだけ学んだかについてより適切に自己評価してもらうために、授業の総括を行います。できるだけ適切に回答してもらうためにも、それまではアンケートに回答しないようにしてください。』

#### (2) 当日(アンケート実施直前)

- ◆ 学生の授業の振り返りをより促し、適切な自己評価を行えるようにするという観点から、FURIKA の回答開始の直前に授業の総括を行ってください。授業の総括では、主に以下の点についてのご説明をお願いいたします。
  - 1. この授業の狙いが何であったか
  - 2. それぞれの到達目標の具体的な意味内容と到達基準 (何ができればその到達目標に達したといえるのか、等)
  - 3. 各回の授業でどんなことを扱ったか(どの回のどの内容がどの到達目標に関するものであったか)

◆ 回答にあたっての留意事項を、次のとおり、学生にアナウンスしてください。

『FURIKAは、本学の授業とみなさんの学習をよりよくするために実施するものです。回答時間は、5分から10分程度です。回答した科目については、自分の学びの傾向や学生全体との比較を含めた回答結果が返却されます。この結果は今後の学習計画をたてるうえで参考になりますので、みなさん自身のためにぜひ回答してください。』

『回答データは出席状況等と関連付けて分析されますが、その際ログイン時の学籍情報は暗号化した上 で集計されるため、担当教員(私)を含めた関係者が回答した学生を特定することはできません。成績評 価には一切影響はなく、回答によってみなさんが不利になることはありません。』

 
 ・『設問2の学習時間については、机に向かって直接的な予習復習をした時間だけでなく、授業の前後に友 だちと授業内容について話をしたり、気になったことをスマホで調べてみたり、試験や課題についてレポ ートを書いた時間など、広い意味で学習と言えるような時間も含めて回答してください。
 』

『設問6では、みなさんがこの授業で学んだことについて記述してください。なお、他の受講生の参考に なるなど、担当教員が優れた内容だと評価した記述は、担当教員が公開できるようになっています。他の 受講生の学習意欲を促すためにも、ぜひ積極的に記述してください。ただし、名前を含んだ記述は公開で きませんので、名前は記述しないでください。』

◆ 授業終了後に回答を始めるよう、学生にアナウンスしてください。

『それでは、本授業が終わりましたら、「〇〇〇(当該科目名)」のアンケートに回答するようにしてく ださい。』

FU ポータルにログイン	「FURIKA」を選択	当該科目を選択
福岡大学 F Uポータルにアクセス し、福大 ID(多要素認証)のアカ ウントでログインしてください。 http://portal.fukuoka-u.ac.jp EXP3#EEF274 いがうめについてもいい EXP3#EEF274 いがうめについてもいい EXP3#EEF274 いがうめについてもいい EXP3#EEF274 いがうかについてもいい EXP3#EEF274 いがうかについてもいい EXP3#EEF274 いがうかについてもいい EXP3#EEF274 いがうかについてもいい EXP3#EEF274 いがいのいてもいい EXP3#EEF274 いがいのいてもいい EXP3#EEF274 いがいのいてもいい EXP3#EEF274 いがいのいてもいい EXP3#EEF274 いがいのいてもいい EXP3#EEF274 いがいのいてもいい EXP3#EEF274 いがいのい EXP3#EEF274 いののい EX	<ol> <li>上部メニュー右端にある緑色 のボタン FURIKA を選択 してください。</li> <li>FURIKA のページが表示され るので「回答する」を選択して ください。</li> </ol> FURIKA           ● 授業アンケート           ● 優素する           ● 振り返る           ● 学生マニュアルはごちら	履修している科目名一覧が表示され るので、アンケートに回答する科目 名横の回答ボタンを選択してください。 ■■===================================

◆ セキュリティの関係上、ヤフーアプリからは、FURIKA にアクセスできません。FURIKA にアクセスできない学生がいる場合、推奨ブラウザ (Internet Explorer、Safari、Google Chrome、Firefox などのブラウザ) から FU ポータルにログインするよう指示してください。

### (3) 当日(アンケート実施中)

- ◆ アンケートの回答状況は、以下の方法で確認できます。
- ◆ 回答率が悪い場合には、FU ポータル「授業支援」-「授業管理」を通じ、授業アンケートの回答について再 度学生にアナウンスしてください。
- ◆ FURIKAは、回答することによって学生自身の成長につながるように設計しています。ぜひ学生の回答率の 向上にご協力をお願いいたします。



#### (4) 当日(アンケート終了)

◆ 学生がおおむね回答を終えたことを確認されましたら、次のアナウンスをお願いいたします。

『FURIKA の回答結果は、成績発表時に FURIKA にログインすることで確認できます。成績を確認する際、同時に FURIKA にもログインしてください。』

『FURIKA の回答結果には、他の学生の記述や、結果に関する教員からのコメントなど、参考になる内容が含まれています。自分の学習を振り返り、今後に役立ててください。』

『また、いま回答できなかった場合でも、試験開始前までは FURIKA への回答は可能です。PC 教室や 自宅の PC などから、回答しておいてください。』

『なお、科目名を誤って選択し、回答してしまった場合は、A 棟地下1 階の教務課(機構担当)まで問い 合わせてください。』

#### (5) 後日(アンケート終了後)

- ◆ アンケート回答結果の先生方への公開は、2月9日(水)となります。
- ◆ 学生の回答結果を確認されましたら、以下の2点について実施をお願いします。
  - ① 記述回答の公開設定(設定方法の詳細については p.6 をご覧ください。)
  - ② 教員コメントの入力(入力方法の詳細については p.7 をご覧ください。)
- ◆ 学生の授業に対する理解やさらなる学習を促すために、ぜひ積極的な活用をお願いいたします。

## 2 記述回答の公開設定方法

設問項目6「この授業で特にあなたが学んだことは何でしょうか」(記述式設問)につきましては、担当教員が 受講生の今後の学習の参考になると判断されたものについて、当該科目を受講し、FURIKA に回答した学生に公開することができます(不特定多数の学生に公開される訳ではありません)。

当該科目を受講した学生が、授業の内容や受講姿勢を振り返ったり、自分自身の授業の見方、受け方を相対化したりするなど、今後の学習姿勢の改善につながると判断できるものがございましたら、ぜひ積極的な公開をお願いいたします。

#### (1) 公開設定時期

令和3年度後期授業科目(集中講義科目含む)については、2月9日(水)~3月14日(月)となります。 ただし、4年次生等の成績発表が2月14日(月)のため、可能な限り2月13日(日)までに入力をお願いいた します(1~3年次生の成績発表は3月15日(火))。

#### (2) 公開における留意点

- ◆ 公開する記述内容の選択にあたっては、以下の点にご留意下さい。
  - 1. 学生個人を特定できるような記述内容は選ばないで下さい。
  - 誤字、脱字、構文の乱れなどは訂正できません。
     また、文章全体の一部のみを公開することもできません。すべて原文のまま公開されますので、
     その点も考慮して公開に資するものであるかどうかのご判断をお願いします。
  - 3. いくつ選ぶかについての制限等は特にありません。

#### (3) 公開設定の方法

- ◆ FURIKA へのログイン方法は、p.5 をご参照ください。
- FURIKA の教員メニューから、「授業アンケート分析」を 選択してください。

FURIKA
- 授業アンケート
<ul> <li>         ・授業アンケート回答状況・結果         ・授業アンケート分析         ・教員マニュアル(Q&amp;Aを含む)はこちら         ・教員マニュアル(Q&amp;Aを含む)はこちら         ・         ・         ・</li></ul>

② 「担当科目一覧」から、当該科目を選択の上、「学んだこと」ボタンをクリックしてください。

担当和	科目一覧							
実施問	寺期 授業アンケー	▶ 年度 期 ▼				一括PDFb	出力はこちら	PDF
選択	科目コード	科目	クラス名		曜日時限	回答率	回答	履修
۲	7030000404-01	科目A			月・4時限	93	46	49
•	7030000404-02	〇〇概論			月・5時限	92	50	54
۲	7030000420-01	演習C			金・3時限~4時限	90	36	40
۲	7030000420-02	科目B			水・3時限~4時限	83	35	42
					_			
רע 🔽	レケート内容 集調	計結果所属学部と到達度	成績と到達度	出席と到達度	GPAと到達度	学んだこと	教員コメン	ጉአታ

③ 公開する回答を全て選択(図)し、最後に「確定」 ボタンをクリックしてください。 (「確定」ボタンを押した後も、必要に応じて修正 することが可能です。)

组当科目一	覧 / 芋ん	だ事				
授業アンク	r-ト		年度	期		
全てチェック	全て解除					
N2	公開				記述內容	
1	×	記述1				
2		記述2				
3		<b>把给</b> 3				
4		12364				
5		1236.5				
全てチェック	全て解除				4 z	

## 3 教員コメント入力方法

教員コメント機能は、担当教員がコメントを受講生に伝えることで、学生の授業に対する理解やさらなる学習を 促すという趣旨に基づき設けたものです。ご記入いただいたコメントは、**当該科目を受講し、FURIKA に回答した 学生に公開します**(不特定多数の学生に公開される訳ではありません)。当該科目を受講した学生が、授業の内容や 受講姿勢を振り返ったり、自分自身の授業の見方、受け方を相対化したりするなど、今後の学習姿勢の改善につな がるよう、ぜひ積極的な活用をお願いいたします。

#### (1) 入力時期

令和3年度後期および通年授業科目(集中講義科目含む)については、2月9日(水)~3月14日(月)となります。ただし、4年次生等の成績発表が2月14日(月)のため、可能な限り2月13日(日)までに入力をお願いいたします(1~3年次生の成績発表は3月15日(火))。

#### (2) 入力していただきたい事項

◆ 先生方に入力していただきたい事項は主に以下の2点です。

#### ① 成績評価を終えた時点での授業の総括

成績評価を終えた時点で、学生がどの程度学べていたのかに関して授業担当者としてお気づきになった点をご記 入ください。

具体的には、多くの学生がきちんと理解できていたところ(できていなかったところ)を総括していただくことや、誤解が多かった点などに関する補足説明等を記入いただくことが想定されます。また、FURIKAにおける学生の自己評価や学習時間と、全体の成績評価結果を照らし合わせつつ、コメントを記入していただくことも考えられます。

#### ② 学生の「学んだこと」へのリプライ

受講生によって入力された「学んだこと」をご覧いただき、それらについて全体的な応答をご記入ください。 ※①と②のいずれか一方に関するコメントを行う、①と②の双方に関するコメントを行うなど、具体的な内容に ついては、各授業担当者の裁量に委ねます。

#### (3) 入力における留意点

コメント入力にあたっては、以下の点にご留意ください。

- 1. 教員コメント機能の趣旨は、授業への理解や今後の学習を促すことにあります。本機能の趣旨に沿った 記述をお願いいたします。
- 2. 学生個人を特定できるような内容や教育上望ましくない記述は避けてください。
- ご自身の責任の範囲における記入をお願いいたします。なお、先生方が記入した内容については、学位 (教育)プログラム責任者及び学部長(学部からの申請に基づきフィードバック情報の閲覧権限を付与 した追加登録者を含む)が閲覧権限を有します。

### (4) 入力方法

- ① FURIKA にログインし、教員メニューから、「授業アンケート分析」を選択してください。
- ② 「担当科目一覧」から、当該科目を選択の上、「教員コメント入力」ボタンをクリックください。

担当科	相一覧							
実施時	・ 損 授業アンケー	ト 2021年度 - 前期 ・				一括PDF出	わはこちら	PDF
選択	科目コード	科目	クラス名		曜日時限	回答率	回答	履修
۲	7030000404-01	科目A			月・4時限	93	46	49
•	7030000404-02	○○概論			月・5時限	92	50	54
	7030000420-01	演習C			金・3時限~4時限	90	36	40
	7030000420-02	科目B			水・3時限~4時限	83	35	42
72.	-ケート内容 生言	計注田 正居学城レ列法在	武法と列法府	中華と列達産		学 イゼマレ	教目コマン	Ь λ <del>П</del>
アン	ケート内容 集調	計結果 所属学部と到達度	成績と到達度	出席と到達度	GPAと到達度	学んだこと	教員⊐;	×>

③ 四角枠内にコメントを **1000 文字以内**で入力(A)してください。入力が終わりましたら、「一時保存」ボタン(B)をクリックしたうえで、「登録完了」ボタン(C)をクリックしてください。

授業アンケート	0000年度 (	)期 7030	000404-01	科目A
学生の授業に対する理解や ③学生の自己評価や実際の ③学生が記入した「授業できるよ ・コメント内容を一旦保存し、 ・内容確認後、問題なければ 『登録完了』ボタンを押する	さらなる学習を促すために、 成績などを踏まえた授業の# 学んだこと」に対する応答 うな内容や教育上望ましく? 確認されたい場合は、『一朝 ?登録完了』ボタンを押して朝 、学生画面に公開されると共	以下の2点に関する 総括 ない記述は避けてくた 保存』ボタンを押して 定させてください。 に、内容の編集ができ	学生へのコメントを記入 ださい。 ください。 なくなります。	してください。
【記入例】 多くの学生が、この授業 重要さ」をあげていました。 割意識を持っておくことが、 かったグループは、その点が	で特に学んだこととして「グル・ グループでの話し合いや作業 結果の質の向上につながりま がしっかりできていました。	ープワークの役割分担 の際、しっかり目的や す。実際、成績評価が	の 役 高	
今後も、さまざまな授業・- の授業で学んだことを、今後	ヹミでグループワークを行う機 この授業・ゼミでも自主的に発	会があるはずです。今 揮していってください。		
	B	-時保存	登録完了	

## Ⅳ. フィードバックの活用方法と留意事項

### 1 はじめに

#### (1) フィードバックの概要

FURIKA は、先生方が担当された科目の受講生<sup>\*\*</sup>が、何を、どこまで学んだのか、きめ細かく確認することができるように設計されています。受講生全体の学習状況はもとより、どういった層の学生が、どの程度学んでいたのか、 授業の到達目標のうち、より学生が到達できたと判断したものはどれか、などさまざまな情報を確認することができます。

ご自身の授業の特性や狙いに沿って、FURIKAのフィードバック情報をご活用いただき、次学期以降の授業設計にお役立て下さい。

なお、FURIKA では、担当教員・学位(教育)プログラム責任者・学生個人それぞれに対応したフィードバック がなされます。本マニュアルは、担当教員に対するフィードバックについての説明となります。

※FURIKAにおける「受講生」とは、受講生のうち FURIKA に回答した学生のことを指します。

#### (2) フィードバック情報の取り扱いについて

- ◆ FURIKA が授業担当の先生方個人に提供するフィードバック情報は、学内への公開であれば、先生方ご自身の判断で公開することが可能です。
- ◆ 学外への公開については、学術目的での活用、教育改善目的での活用、自身の教育研究業績を示す資料としての活用、であれば認められていますが、学外へ公開される場合には、教務課機構担当までご相談ください。

## 2 フィードバック情報の閲覧方法

#### (1) フィードバック情報の表示方法

- ① FURIKAの教員メニューから、「授業アンケート分析」を選択してください。
- ② 「担当科目一覧」から、閲覧する科目を選択(A)した上で、表示するメニューボタン(B)をクリックしてください。

担当利	科目一覧							
実施問	時期 授業アンケー	ト 2019年度 前期 🔻				一括PDF出	けはこちら	PDF
選択	科目コード	科目	クラス名		曜日時限	回答率	回答	履修
۲	7030000404-01	科目A			月・4時限	93	46	49
۲	7030000404-02	00概論			月・5時限	92	50	54
0	7030000420-01	演習C			金・3時限~4時限	90	36	40
	7030000420-02	АНЕВ В			水・3時限~4時限	83	35	42
アン	ンケート内容 集調	計結果 所属学部と到達度	成績と到達度	出席と到達度	GPAと到達度	学んだこと	- 教員コメン -	小人力

- ◆ ご自身が科目担当者(但し、オムニバス科目については科目代表者)である科目(集中講義を含む)の一覧 が表示され、それぞれの科目について、回答率等をご確認いただけます。
- ◆ フィードバック情報は、「アンケート内容」、「集計結果」、「所属学部と到達度」、「成績と到達度」、「出席と到 達度」、「GPAと到達度」、「学んだこと」「教員コメント入力」の8つのメニューから構成されています。

#### (2) 各メニューについて

※各メニューの活用方法の詳細については、FU ポー タル内「FURIKA に関する Q&A」にてご確認くださ い。

#### アンケート内容

アンケートのそれぞれの設問項目<sup>※</sup>(①出席状況、 ②学習時間、③到達度、④積極性、⑤理解度、⑦FU プラスアップ授業)の単純集計結果を表示していま す。

※アンケートの設問項目については、p.2 をご確認く ださい。





#### 遠 隔 授 業 に 対 応 し た 設 問 項 目 の 結 果 に つ い て

③到達度では、例年であれば各授業の到達目標に到達しているかを問う項目のみで構成しています が、昨年度同様、各授業の到達目標に到達するうえで遠隔授業の進め方がどう影響しているかを「良か ったこと」「改善が望まれること」の2つの観点から問う設問を追加しています。アンケート結果は 「アンケート内容」画面に「良かったこと」「改善が望まれること」ともに下記のようなグラフで表示 され、各項目の回答人数が確認できます。

#### ③到達度

(※「10.その他」の項目は自由記述となっており、CSV で内容をダウンロードできます。)

		「10.その他」を選んだ方は内容を記述してください。 内容を出力
	この推動の設定目標に設定するうえて、私かったことを思んですさい。(私数回義号)	
	C. #######CHEVORE##U_112:###################################	
	□ 2:授業で用いられたICTツール(FU_box、Webexなど)	
	□3:授業の進む速さ	
	□4:教材・資料の分かりやすさ	
	□ 5:教材・資料の分量	
	□ 6:課題(レポート等)の難易度	
	□7:課題(レポート等の分量)	
	□8:教員とのコミュニケーション	
	□9:学生闇のコミュニケーション	
	□10:その他	
	□11:特になし	
	□12:授業全回を対面で受講した	
	11(b(%)	
100		
90		
80		
70		
60		
50		
40		
30		
20		
10		
	sh a 1904 a 1954 a 1904 a 1964 a 1964 a 1964 a 1964 a 1964 a 1964 a 24	

#### 集計結果

アンケートのそれぞれの設問項目の集計結果(回答の平均値)を、全ての受講生ごと、男女別、学年別で 表示しています。

なお、「全体」(オレンジ色)は対象科目が専門科目 である場合にはその科目を含む全ての学科科目、共通 教育科目である場合には全ての共通教育科目の平均と なっています。

#### 所属学部と到達度

※共通教育科目の場合のみ表示します。

アンケートのそれぞれの項目の集計結果を受講生の 学部別で表示しています。

受講生全体の傾向だけでなく、所属学部ごとに極端 な差が生じていないかどうか、について確認すること ができます。

#### 成績と到達度

「成績と到達度」のT図<sup>※</sup>では、教員による客観的 な成績評価(横軸)と到達度に関する学生の主観的な 自己評価(縦軸)がどういった関係にあるかを示して います。

受講生が自分自身の到達度をどう評価しているの か、また、その自己評価が成績評価に照らしてどの程 度適切に行われているか、等について確認することが できます。

※ T 図の説明については、 p.13 をご参照ください。

#### 出席と到達度

「出席と到達度」のT図では、学生の出席率(横 軸)と到達度に関する学生の主観的な自己評価(縦 軸)がどういった関係にあるかを示しています。 受講生の出席状況がパフォーマンス<sup>※</sup>にどう影響す るか、等について確認することができます。

例年、出席率は、「出席調査用カードセンサー」のデ ータを基に算出しておりますが、2020年度より、設 問項目に「出席状況」の項目を追加し、その回答を基 に出席率を算出しております。

※パフォーマンスについては、FU ポータル内「FURIKA に関する Q&A」をご参照ください。









#### GPAと到達度

「GPA と到達度」のT図では、学生のGPA(横軸) と到達度に関する学生の主観的な自己評価(縦軸)が どういった関係にあるかを示しています。

受講生の成績層の違いがパフォーマンスにどう影響 するか、等について確認することができます。

#### 学んだこと

設問項目6「この授業で特にあなたが学んだことは 何でしょうか」についての回答結果が表示されます。 ※学生の記述回答がない場合は、表示されません。 ※この項目については、受講生へ公開する回答を選択 する必要があります。選択方法については、p.6を ご参照ください。

#### 教員コメント入力

受講生へのコメントを入力する欄が表示されます。 ※入力方法については、p.7 をご参照ください。



ミモチェック	全て解除	
N2	公開	記述内容
1		これから大学で学んでいくために必要な三つのポイントがよく理解できた。
2		コミュニケーションの難しさと面白さ
3		グループワークでどうすればいいのか、がよく分かった。ただ、司会はとても難しく、まだまだ 経験が必要だと感じた。
4		大学では自主性が大事だといわれているか、実際に自主的に行動するのは難しいし、自主的に行 動するためには実は知識が必要だということに気づいた。自分のためになるとてもよい授業でし た。
5		相手がどう考えるか、を考えて話すことが大事だということ。また、論理的に説明できる能力を 身に付けることができた。
6		グループワークの進め方を学んだ。今後の大学生活に役立つことを学ぶことができて良かったで す。
7		クリティカルシンキング。
8		グループワークの大事さ。

Eが記入した「投業で手んだこと			
主個人を特定できるような内容や	教育上望ましくない記述は避けてく;	ださい。	
ント内容を一旦保存し、確認された	い場合は、『一時保存』ボタンを押して	ください。	
確認後、問題なければ「登録完了」	ポタンを押して確定させてください。		
(静売了) ボタンを押すと、学生演算	に公開されると共に、内容の場覧ができ	なくなります。	
		~	

#### T図について

「成績と到達度」「出席と到達度」「GPA と到達度」で示すグラフは、主に科目の到達目標への学生の到達状況 を示す図で、FURIKA ではこの図を「T図(到達図)」と呼びます。T図は、横軸と縦軸のさまざまなデータの関 係を表す散布図を抽象化したもので、本学で独自に開発したものです。

例えば、「成績と到達度」のT図では、教員による客観的な成績評価(横軸)と到達度に関する学生の主観的な 自己評価(縦軸)がどういった関係にあるかを示します。

なお、T図についての詳細な説明は FU ポータル内「FURIKA に関する Q&A」にも記載しています。

#### T図の縦軸

T図の縦軸には、以下の6つの種類があります(右図 参照)。

- ①「総合到達度:科目」(色:ブルー)
- ※「総合到達度」は、当該科目の全ての到達目標に 対する学生の自己評価を平均化(四捨五入して整 数化)して算出しています。
- ②「総合到達度:全体」(色:オレンジ)
   ※その科目が含まれるカテゴリー(共通/専門)の
   全授業科目の結果の平均を示すもので、比較参照のために表示しています。
- ③「学習時間」
- ④「到達」※全ての到達目標について表示されます
- ⑤「積極性」
- ⑥「理解度」
  - ※③~⑥は、各設問項目に対する学生の回答との関係を示しています。





T図の下に、相関係数を表示しています。相関係数は、相関関係の程度を示す指標です。数値は−1~+ 1の範囲となり、この数値が2つの変数の関連性の強さを把握する目安となります。

相関係数をどう解釈するか、には明確な基準はありませんが、一般的な目安としては、絶対値 0.2 未満では相関関係はない、0.2~0.4 では弱い相関、0.4~0.7 で中程度の相関、0.7 以上で強い相関がある、と言われています。 T 図においても同様の解釈ができるか、については、今後検討していく必要があります。

また、相関係数は全体の傾向から外れた回答(外れ 値)の影響を受けやすいなどという特徴があり、T図 における相関係数を解釈する際には注意が必要です。

詳しくは、FU ポータル内「FURIKA に関する Q&A」 をご参照ください。



自己評価が3、到達目標2について自己評価 が5」と回答したとすると、総合到達度は4 となり、その学生は「縦軸:4」と「横軸: 優」のマス目に配置されます。



## 3 フィードバック情報のダウンロードについて

フィードバック情報は、学内であれば先生方ご自身の判断で公開することが認められていますので、必要に応じて教員間で共有する等してご活用いただけます。回答結果の生データをダウンロードすることはできませんが、 FURIKAに表示されているグラフについては、PDFファイルとして出力することが可能です。出力方法は以下の通りです。

#### 〈全ての項目の集計結果を一括で出力する場合〉

「担当科目一覧」から、閲覧する科目を選択(A)した上で、画面右上「PDFボタン」(B)をクリックしてください。

実施時期 授業アンケート 2021 年度 前期 ・ ー括PDF出力はごちら PDF						
選択	科目コード	科目クラス名	曜日時限	回答率	回答	履修
۲	7030000404-01	科目A	月・4時限	93	46	49
0	7030000404-02	OO概論	月・5時限	92	50	54
$\bigcirc$	7030000420-01	演習C	金・3時限~4時限	90	36	40
	7030000420-02	М <b>ЕВ</b>	水・3時限~4時限	83	35	42
					# <b>D</b> - 11	1.7.4

#### 〈各項目の集計結果のみを出力する場合〉

- ① 上記の「担当科目一覧」から、閲覧する科目を選択(A)した上で、表示するメニューボタン(C)をクリックしてください。
- ② 各メニュー内、画面右上「PDF ボタン」(D) をクリックしてください。



#### 〈「学んだこと」を出力する場合〉

公開する回答のみを出力する場合は(F)の「PDFボタン」、全コメントを出力する場合は(G)の「PDFボタン」をクリックしてください。

٦

_	 	 -	$\sim$	~	 	•	

100014	ц ж	- Holee							
授業ア	ンケー	·-ト       年度 前期 ? 7030000404_01 科目A       2 Cの項目を一括にま							
「公開」 される。 など、容 ・ 学生( ・ 誤字、 ・ いく?	○ に に で に で で の の 沢 を や 、 の の し に で い の 訳 に で い の 訳 に で の の 訳 に で の の 訳 に で の の 訳 に で う の 遇 人 を ち に 、 の の し に ち に う の 説 た ち 、 の の し に ち ち 、 の の し に ち ち 、 の の し に ち つ 、 の の し に ち っ の い た い う の 説 、 ち つ い う の い う い う の い う い う い う の い う い い う い う い う い う い う い う い う い う い う い う い う い う い い い い い い つ い う い い い い い い い い い い い い い	ックを入れた記述内容は、この授業の受講生のうち、「学んだこと」を回答した学生にのみ公開されます(不特定多数の全学生に公開 りません)。この授業を受講した学生が、授業の内容や受講姿勢を振り返ったり、自分自身の授業の見方、受け方を相対化したりする 習姿勢の改善に向けた参考につながると判断できるものがございましたら、ぜひ積極的な公開をお願いいたします。なお、公開する記 あたっては、以下の点にご注意下さい。 をできてしまう可能性のある記述内容は選ばないで下さい。 構文の乱れなどは訂正できません。また、文章全体の一部のみを公開することもできません。 まま公開されますので、その点まで考慮して公開に資するものであるかどうかのご判断をお願いします。 についての目安は特にございません。	<ul> <li>とめた PDF ファイルで</li> <li>は「学んだこと」は「公</li> <li>開」を選択した記述のみ</li> <li>を含むものになります。</li> </ul>						
全てチョ	⊑ック	全て解除 ⑦ のみPDF出力 <sup>PDF</sup> 全コメントPDF出力 <sup>PDF</sup>	G						
Nº	公開	記述内容							
1		ASゼミにおいて、読み書きの大切さを改めて感じた。							
2		communication							
3		この授業においてグループワークの大切さ、またグループにおける一人一人の役割の重要さがよく分かりました。							

### 4 授業アンケート実施に係る遵守事項

平成 30 年 4 月 27 日

#### 教育開発支援機構運営委員会了承

福岡大学 授業アンケート実施に係る遵守事項

授業アンケートに関わる教職員は、以下の項目を遵守しなければならない。

- 1. 学生への不当な処遇の禁止
  - (1) 授業アンケートを実施したことによって得られた情報をもとに、学生に対して不当な処遇や対応を行ってはならない。
- 2. 学生に不当な圧力をかける可能性のある調査項目の追加および分析結果の公表の禁止
  - (1) アンケート調査項目の設計において学生に不当な圧力をかける可能性のある項目を加えてはならない。
  - (2) 学生に不当な圧力をかける可能性のある分析結果を公表してはならない。
- 3. 授業アンケートのフィードバックに係る情報の取り扱い
  - (1)教員個人を特定しうる情報を学内外に公開する場合には、本人の同意を要する。ただし、教員個人を特定しうる情報であっても、情報共有を目的とした学部ないし学位(教育)プログラム内での情報公開の可否については、学部ないし各学位(教育)プログラムでそれぞれ定める。
  - (2)(1)を含め、授業アンケートのフィードバックに係る情報の取扱要領は別に定める。
- 教員への不当な処遇の禁止 授業アンケートを実施したことによって得られた情報をもとに、教員に対して不当な処遇や対応を 行ってはならない。

〈参 考〉

## 学生メニュー画面イメージ

### 1 回答画面

① 「FURIKA」を選択すると、学生メニューが表示されます。

🏐 粘岡大夢	お知らせ	<b>共通 授業関</b> 連	፼ 「学生生活」 サイト	マップ FURIKA 🏼 🎤
				<b>B B B</b>
				202
→回答する	i i			
▶ 振り返る				
→ 学生マニュアルはこちら	;			

②「回答する」を選択すると、履修している授業科目の一覧が表示されます。

※前期実施期間中は前期授業科目(集中講義を含む)が、後期実施期間中は後期および通年授業科目(集中講義 を含む)が表示されます。

FURIKA							
アンケート回答							
授業アンク	アート 0000 年度	○ 期	~				
科目一覧							
回放中	月·1時限	G 108	生涯スポーツ論				
*	月・2時限	C III	中世ヨーロッパ哲学				
*	火・2時限	G 10%	インターミディエイト・イングリッシュI				
*	火・4時限	C HR	都市地理学				
*	火・5時限	G 10%	マス・コミュニケーション論				
回號中	水・2時限	C HIN	西洋黄绸史				
*	水・3時限	G 1076	言語の哲学				

③当該科目名横の「回答」ボタン( び回答 )を選択すると、当該科目の回答画面が表示されます。

授業アンケート 〇〇〇〇年度 〇期 🗸	シラバスに記載の「授業計画」が表示されます。				
	教育の原理・課程論(近代以降の公… 水曜日 3限 横場 論				
教育の原理・課程論(近代以降の公教育を中心に)	授業計画				
水 3限 橋場 論 ① 出席状況	1回目 ガイダンス 2回目 教育とは何か:教育の本質と意義				
この授業には何回出席(「科目名」「曜日・時限」「教員名」が表示	<ul> <li>3回目 近代国家の成立と公教育の展開(教育の…</li> <li>4回目 近代国家の成立と公教育の展開(教育の…</li> <li>5回日 教育の際中的尾関と教育思想(公教育を…</li> </ul>				
	6回日 公教育を巡る現代的課題(アーミッシュ… 7回目 公教育を巡る現代的課題(対師の役割に…				
	8回目 中間まとめ 9回目 教育課程編成と学習指導要領				
	10回目 教育課程編成に関する原理 11回目 学習指導要領の歴史的変遷				
	12回日 デカ低や調学と教育課程 13回日 新たな学習観と教育課程				
	14回目 カリキュラム・マネジメント 15回目 全体まとめ				

#### <回答画面の各設問項目>

①出席状況	③ 3 1回でも決用投業の形態で受消した投業料目について、お昇ねします。以下に挙げる項目のうち、あなた				
Service of the	がこの校葺の到達目標に到達するうえて、改善が留まれることを選んで下さい。(複数回答可)				
この授業には何回出席(参加)しましたか?	たたし、本保護を主く対面のみて交通した場合は、112:保護空回を対面 て交通した」を読択してくたさい。 ロ + 法目前発示会は、(11つになどした没想用にすいだつで、形明論				
※出席(参加)回販が可確定プラントできない場合には、推業利益分の出産に相当す るかをおおよその判断で回答してください。	1.1200010000000000000000000000000000000				
0 🗸 0	□ 2 授業で用いられたICTツール (FU_box、Webexなど)				
②学習時間	() 3.授業の進む速さ				
一回の授業に対してどれくらい学習(予習復習、資料の収集・関	4.数材・資料の分かりやすさ				
覧を含む)しましたか?授業前後に友人と内容について話した り、試験勉強や課題のレポートを書いた時間も含みます。	□ 5.数材・資料の分量				
	□ 7.課題(レポート等)の超易度				
· · · 分	□ 5 課題(レポート等)の分量				
③到達度	□ 9.教員とのコミュニケーション				
小.1 この過算のシラバフには、以下の取換目標が設定されていま	□ 10.学生間のコミュニケーション				
す。あなたはこの授業をうけて、各到達目標にどの程度到達でき たと思いますか?	□ 11:その他				
	□12:授業全回を対面で受購した				
1)近代以降に公教育が発展した背景について、国民国家の成立という観点から、説明することができる。(知識・理解)	「10.その他」を選んだ方は内容を記述してください。				
○ 1.全くできなかった 実際には、設定されている全ての到	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
○ 2あまりできなかった 目標に対して選択肢が表示されます	④積極性 この授業に対してどの程度主体的・局面的に取り組むことができ				
○ 3:どちらともいえない	ましたか?(前向きな姿勢での出床、予習復習、課題の提出、授 業での発言、グループワークでの活動への参加、等)				
○ 4.ややできた	○ 1.全くできなかった				
○ 5:充分にできた	○ 2.あまりできなかった				
③-21回でも遠隔授業の形態で受講した授業科目について、お尋ねします。以下に挙げる項目のうち、あなた	○ まどちらともいえない				
がこの授業の到達日標に到達するうえて、良かったことを選んで下さい。(複数回答可) ただし、土田県も会て対応の3.70円間、たけ会は、「13、50日をつかせがでの時間、たした現代してください。	○ 4.ややできた				
□ 1:各回の授業の方法(リアルタイム配信型/オンデマン ド型/教材配信型)	<ul> <li>○ 5.充分にできた</li> <li>⑤理解度</li> </ul>				
□ 2:授業で用いられたICTツール(FU_box、Webexなど)	この授業の内容はどの程度現解できましたか?				
□3:授業の進む速さ	<ul> <li>1全くできなかった</li> <li>2本まれできなかった</li> </ul>				
□4:教材・資料の分かりやすさ	<ul> <li>3どちらともいえない</li> </ul>				
□ 5:教材・資料の分量	○ 4.ややできた				
□ 6:課題(レポート等)の難易度	○ 5充分にできた				
□7:課題(レポート等の分里)	⑥学んだこと この時間で特にあなたが常んだことは何でしょうか。				
□8:教員とのコミュニケーション					
□9:学生間のコミュニケーション					
□10:その他	② ミリプラフマップ通常				
□11:特になし	Cの授業で実施されたFUプラスアップ授業は、自身の学習を促進する上で、どの程度役に立ちましたか。				
□12:授業全回を対面で受講した	○ 1.全く役に立たなかった				
「10 子の他」を選んだ方は内容を記述してください。	○ 2.あまり役に立たなかった				
THE CONSTRUCTION SET & RECEIPT	<ul> <li>③ 3:やや役に立つた</li> <li>○ 4 大変役に立った</li> </ul>				
	○ F/Uプラスアップ授業動画は見ていない				
	▲ 登録 「■ 授業計画 ●4 戻る				

④「登録」ボタンを押して、終了です。(一度、「登録」を完了すると、後で回答を修正することはできません。

## 2 フィードバック画面

#### 学生へのフィードバックの概要について

学生に対しては、学生個別に集計し、回答者本人に対してフィードバック情報を提供いたします(学生用マニュ アルは FU ポータルに掲載予定)。学習内容の振り返りや自己評価の能力は、自律的な学習の基盤です。FURIKA で は学生へのフィードバックを通じて、これらの能力の向上をはかっています。フィードバック情報を用いて、例え ば「その授業で何を学んだか」の自己評価を、他の学生の自己評価や教員からの客観的な評価と比較すること等に よって、より適切に自身の学習状況や傾向、特徴などを把握できるようになってもらいたい、と考えています。

なお、システムの仕様上、教員が学生用画面を閲覧することはできないため、以下のとおり画面サンプルをお示しします(実際の画面と異なる場合がございます)。

#### 学生のフィードバック情報の種類

学生メニュー画面サンプル

学生のフィードバック情報は、主に「科目別の 情報」「自分の特性」に分けられます。

#### 科目別の情報

以下5つのメニューから構成され、主に当該科 目に関する回答結果を表示します。

「アンケート内容」
 …自分自身の回答を表示します。

#### 2 「全体との比較」

…受講生全体(それぞれの設問項目の回答平均) と自分自身の回答の比較を表示します。

#### ③ 「学んだこと」

…自分自身の回答および他の受講生の回答を表示 します(ただし、担当教員が公開設定を行った 回答記述のみ表示します)。

#### ④「成績との関係」

…教員による成績評価(横軸)と各設問項目に対 する学生の自己評価(縦軸)がどういった関係 にあるかを示すT図に、自分自身の位置を★で 表示します。

#### ⑤ 「教員コメント」

…授業の総括や学生が回答した「学んだこと」に 対するレスポンスなど、教員からのコメントを 表示します。



フレッシュマン・イングリッシュⅢ

担当教員からの授業総括、アンケート結果からのコメントを確認してみましょう。

アンケート入門(Nクラス) 成績:A

成績:B

#### 自分の特性

以下4つのメニューから構成され、主にディプロマ・ポリシー(以下、DP)に関するデータを表示します。

- ⑥ 「ポリシー」
   …自分自身が専攻しているプログラムの DP を表示します。
- ⑦「全体との比較」
  - …同じプログラムを専攻する学生(同学年)との 回答結果の比較を表示します。
- ⑧ 「成績との関係」
  - …教員による成績評価(横軸)と DP が求める能 カに対する学生の自己評価(縦軸)がどういっ た関係にあるかを示す T 図に、自分自身の位置 を★で表示します。
- 「DP への到達度」
  - …DP が示すそれぞれの能力に対する到達度の累 積を表示します。







優 秀

不

可 良



9



<sub>授業アンケート</sub> FURIKA 学生用マニュアル -回答方法と留意事項-

<u>F</u>ukuoka <u>U</u>niversity self-<u>R</u>eflection <u>I</u>ndex of <u>K</u>nowledge, <u>A</u>bilities and <u>A</u>ttitudes

#### 福岡大学では、全学統一のWebによる授業アンケート「FURIKA(フリカ)」を実施しています。

FURIKAとは、 "Fukuoka University self-Reflection Index of Knowledge, Abilities, and Attitudes"の頭文字で、学生のみな さんの学習の振り返り(FURIKAえり)に活用してもらいたい、という願いからこの名称が付けられています。

FURIKAは、ゼミや実習を含む全ての授業で実施しています。履修している全ての科目について、みなさんが何をどれだけ学んだかについてぜひ回答して下さい。

#### みなさん自身の学習状況を教えてください



自分自身が何をどれだけ学んだかについて、 今期受講した科目毎に振り返り、率直に回答 してください。自身の成長には"適切な"自己 評価が欠かせません。過度な謙遜で自己を低 く評価することなく、FURIKAを通じて冷静 に自身の成果と課題を見極め、次の一歩につ なげていってください。

#### FURIKAは、みなさんの個人情報を守ります

みなさんの回答データは本学の教育をよりよくす るために活用されることや教育改善に資する研究 に活用されることがあります。ログイン時の学籍 情報は暗号化され、担当教員を含めた関係者が回 答学生を特定することはできず、成績評価への影 響も一切ありません。また、回答によってみなさ んが不利になることはありません。

# FURIKAでの回答は、みなさん自身のメリットになります



みなさんがFURIKAで回答した科目について は、成績確定後にその分析結果(例えば、自 分の学びの傾向や他の学生全体との比較、な ど)を閲覧することができるようになります。 全ての科目でしっかりと回答することを心が けてください。



### 実施期間

## 令和3年12月20日(月)~令和4年1月17日(月)に実施します。

◆ 実施期間中はいつでも回答できますが、授業担当教員から回答のタイミングについて指示がある場合は、その指示に従って ください。

「FURIKA」を選択

## アクセス・ログイン方法

#### FUポータルにログイン



「回答する」を選択 FURIKAメニューが表示されるので「回



◆ FUポータルへのログインは、「ヤフーアプリ」からは行わないでください くてきません)。推奨ブラウザアプリ(Internet Explorer、Safari、Google Chromeなど)からログインしてください。 アンケートの回答方法

1. 履修している科目名一覧が表示されますので、アンケートに回答する科目の 🖸 回答 を選択してください。



3. 最後に内容を確認し、 🔔 登録 を押して終了です(一時保存はできません)。

FURIKA

一度「登録」を完了すると、後で回答を修正することはできません。「科目名」が間違っていないか、回答に誤りがないか、 などを確認の上、登録ボタンを押してください。誤って回答した場合には、教務課(機構担当)までご連絡ください。

> に関するお問い合わせ先:教務課機構担当(A棟地下1階) furika@ml.fukuoka-u.ac.jp

## 授業アンケート FURIKA に関するお問い合わせ先

教務課 機構担当(A 棟地下1階)

E-mail:furika@ml.fukuoka-u.ac.jp 内線:2852・2853

© 2021 Institute for the Development and Support of Higher Education, Fukuoka University